

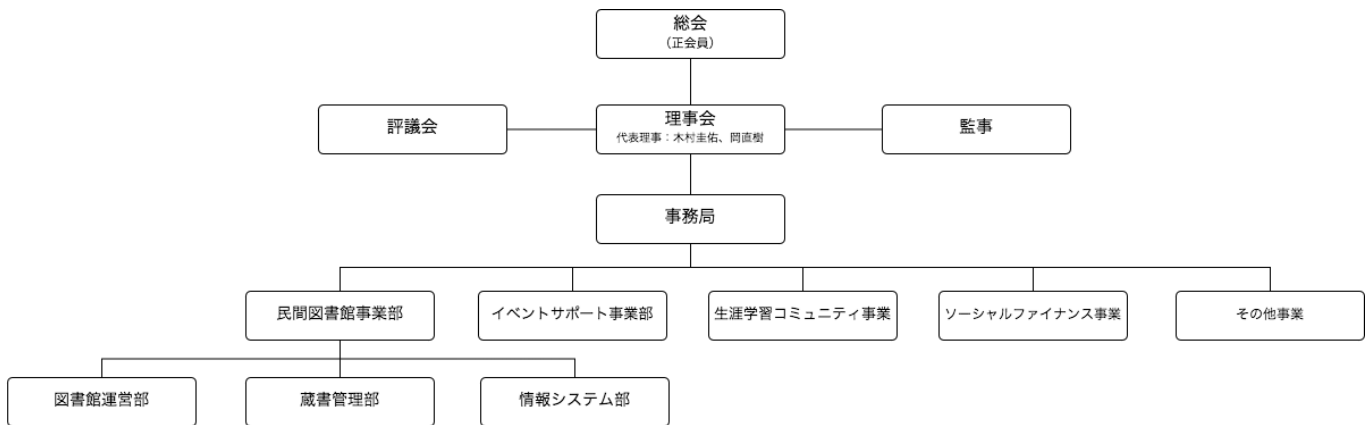
情報ステーション 第14期・2017年度 事業計画

0. 概要と組織

「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を広げてまいります。

0-1. 組織

幅広く活動の趣旨を伝え正会員の増強に取り組むと共に、約3分の1の理事を新任し、開かれたガバナンスを目指します。



【会議体】

会議名	参加者	頻度
総会	正会員、理事、監事	年1回
理事会	理事、監事	月1回
評議会	評議員、代表理事、副代表理事、常任理事	年1回程度
事務局会議	事務局長、運営スタッフ	週1回

【事業ごとの従事者】

0.組織・財務	3名	◎岡直樹、木村圭佑、廣瀬聡
1.民間図書館事業		
1-1.図書館運営部	6名	◎成瀬麦彦、木村圭佑、山田玲子、柏原佳奈、中島圭介、渡辺真央
1-2.蔵書管理部	6名	◎常駐スタッフ、成瀬麦彦、鈴木千夏、須藤美有、中島圭介、廣瀬聡
1-3.情報システム部	3名	◎金子純、木村圭佑、加藤歩人
2.イベントサポート事業	2名	◎成瀬麦彦、大澤寛行
3.生涯学習コミュニティ事業	2名	◎成瀬麦彦、廣瀬聡
4.ソーシャルファイナンス事業	2名	◎木村圭佑、渡邊輝美
5.その他の事業	2名	◎岡直樹、木村圭佑

0-2. 財務

継続的・安定的に理念を実現するために、予実管理を行います。

0-2-1. 助成金

より広い活動を行うために、公募されている助成金への応募を行います。

- ・ 年間 240 万円の助成金獲得
- ・ 助成金審査結果に対する検証

0-2-2. 売掛金管理

売掛金を管理し、キャッシュフローの改善を行います。

- ・ 発行から3ヶ月以上経過した売掛金の精査

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方とのつながりを増やし、またボランティアなどに関わってくれる方々の更なる活動への参加促進を目指します。

その為に、図書館数をはじめ、ボランティア、寄贈本、利用者などを全体的に増やすと共に、その実現のために日々の業務フローを確立させます。

1-1. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する既存館のマネージメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設を担当します。

新規開設においては、過去に協働を行っている団体との事例をさらに広げるとともに、新たに連携できる団体等を増やすことに努めます。

- ・ 図書館を延べ120館に増やす
- ・ 既存協働館の本棚の管理専任職員の採用 【1Q、2Q】
- ・ 新規協働先の営業手法を検討しフロー化 【1Q】
- ・ 新規協働先の営業手法を適用した営業を行う 【2Q】

1-2. 蔵書管理部

民間図書館事業蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など蔵書流通のすべてを担当します。

蔵書管理専門の職員を採用し、本の流通サイクルを常に動かせるようにします。

またこの過程においては、ボランティアDAYの開催スキームを確立し、より多くのボランティア参加を促すとともに、寄贈本増加による支援者拡大に取り組み、みんなで作る図書館を体現します。

- ・ 蔵書管理専任職員の採用【1Q】
- ・ 店頭販売スキームの検討【1Q、2Q】
- ・ 店頭販売のトライアル開始【3Q、4Q】
- ・ 寄贈本を年間4万冊受入
- ・ ボランティアDAYを週2回ペースで開催

- ・ Amazon月額販売額20万円の達成
- ・ 古本市を年間6回開催
- ・ 蔵書センター開設の検討

1-3. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当します。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用アプリとセルフ貸出しシステムの更なる改善を進めます。また、各種データ入力の補助機能を向上し、データの量と質を増やし、図書館の利用を促進する配架に活用します。

- ・ ハンディスキャナ対応の設計・実装【1Q、2Q】
- ・ オフラインデータの反映方法の設計【1Q】
- ・ オフラインデータの反映【2Q】
- ・ 新規開館図書館の蔵書選定（蔵書最適化）システムの設計【3Q】
- ・ 新規開館図書館の蔵書選定（蔵書最適化）システムのプロトタイプ実装【4Q】

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

図書館生活では「図書館をもっとたのしく便利に」の趣旨を実現するため、従来の蔵書検索機能の他に、図書館の情報発信機能を強化しコンテンツを増やす事により、各図書館の楽しさ・魅力が多くの人に伝わるようなサイト作りを目指します。

- ・ ボランティア向け機能の移管【1Q】
- ・ オンライン会員登録の稼働【2Q】
- ・ ブックレビュー機能の実装【4Q】
- ・ 各図書館ページのコンテンツ強化

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業では、地域のおまつりやイベント等の広報や事務局サポート、会場提供、ボランティアによる開催当日の運営支援などを担当します。

- ・ サポートイベントの記録方法のフロー化【1Q】
- ・ 会場提供拡大方法の検討

3. 生涯学習コミュニティ事業

生涯学習コミュニティ事業では、みらい大学の講師ブッキングや当日の運営などを担当します。民間図書館事業との連携により、講義内容や関連資料のアーカイブ化に取り組みます。

- ・ 講演のアーカイブ化の検討

4. ソーシャルファイナンス事業

地域経済の循環促進を目的とし、地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行います。

- 運営パートナーの誘致【1Q】
- 運営パートナー提携料無料キャンペーンの実施【1Q】
- 民間図書館新規開設のプロジェクトのフロー化【2Q】
- 運営パートナーサポート体制の検討

5. その他の事業

先の4事業と団体主旨の普及啓発を目的とし、日常的な広報活動を行います。

5-1. 会報誌

毎月発行する会報誌の部数を増やし、会員等への郵送以外に図書館やイベント等での配布を行います。またそれに伴い、コンテンツの強化に取り組み、従来の論考やアドボカシーだけでなく、日ごろの活動が伝わり、ボランティアやイベントへの参加につながる紙面構成を目指します。

- 会報誌自体のあり方の検討【1Q】
- 発行フローの整理【2Q】

5-2. 視察・見学・講演

近年増え続けている視察・見学等に対し、より充実した資料・情報の提供を行います。また、気軽に見学等ができるような導線を設定し、見学者の増加を目指します。

- 説明資料セットの作成【1Q、2Q】

5-3. コーポレートサイト

あらゆる関係性を良くするために様々な情報を広く報じます。第三者目線から情報を整理してもらい、整理された情報を元に広報物を作成していきます。

- ホームページリニューアルのための情報整理【2Q】
- ホームページのリニューアル【3Q】